

週報

こひつじ

第40巻 50号
大津キリスト教会
菊池郡大津町室 119
TEL 096-293-4470
FAX 096-293-4961
牧師 米村 英二

あなたが正しいからではなく (二)

その二 神の予定

子どもの教育も私は上手ではなかった。
長男は小学校に入っても、鉛筆を正しく握れず、字がちゃんと書けなかった。どんなに注意してもだめである。

「そうじゃない、こう握るんだ」
とどなって彼の小さな心を傷つけたことが何度あっただろう。どうしてもつとやさしくできなかったのか。子どもを励ますことの少なかつたあの頃の自分が、つくづく悲しく思い出されるのだ。ずいぶん忍耐して育てたと私は思っていたかもしれないが、よく考えてみると、忍耐していたのは子どもたちのほうだった。彼らは思う。

愚かな父親を実に寛大な心でゆるしてくれていたのである。
妻や子どもとの関係では、もっと別のやり方があったのではないかと今では後悔することが多い。牧会生活においても、おそらく同じ失敗をやってきたのだろう。こう思い返してみると、荒野におけるイスラエルの不信仰と不従順の生活は、まさに私の人生そのものだったと言つてよい。

そんなイスラエルをゆるし、その上に、神は良い地を彼らのために準備してくださっていたというのである。

私の場合も同じであつたように思う。

六〇年近いクリスチャン生活を振り返るとき、神が私のためになさったことは私の想像をはるかに超えるものだった。
私は決して幸福を求めて献身し、伝道生活に入ったわけではなかった。にもかかわらず神は私に幸福をも加えてくださっていた。

ニクラス宣教師家族が去り、この町に残ることになったとき、私の心は不安におののいていたが、神は私の不安とおののきを取り除き、それを大きな喜びに変えてくださったのである。

それは、私が正しかったからか。そうではない。
私の道徳とは無関係に、神の恩恵によって、神がそのように計画なさったからである。

それなら、なぜ、私の人生はどのように運んだのか。
もう一度言う。それは私が正しかったからではない。神が恵み深くもそう計画なさったからである。これを神の予定という。

再臨と同様に、きわめて重要なものだと言える。

それなら予定とは何か。私たちが救われたのは、私たちが救われたいと願ったからではなく、神のほうから一方的に働いて、私たちが救ってくださった。それは恩恵によるものであって、私たちの願いによるものではない。神がそう計画なさったからである。

それが予定の教えである。それが私たちの人生もまた、自分で、こう送ろうと思つて送つた人生ではなく、神が計画されたものではないか。(続)

今日の礼拝

- 第一礼拝は午前10時から、
- 第二礼拝は午前11時から、
- 教会学校は午前10時から、
- 説教は米村牧師。

元旦礼拝の案内

午後二時から合同で行います。
礼拝後、ぜんざいが準備されていますので、食べながら、新年の挨拶をなさってください。